

令和 6 年 度

小学校教員資格認定試験

教科及び教職に関する科目(Ⅱ)

注 意 事 項

受験者は、下記の注意事項に従うこと。それ以外の注意事項は全て試験監督者の指示によること。

1. 試験監督者の「始め。」の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけません。
2. 小学校の 10 教科の中から、「音楽」、「図画工作」、「体育」のうち 2 教科以上を含む 6 教科を選択して受験してください。
3. 氏名、受験番号を「令和 6 年度 小学校教員資格認定試験 解答カード」(以下、「解答カード」という。)の指定された欄に必ず記入してください。
4. 受験番号、選択教科をマークしてください。
5. 「解答カード」の中で、特に受験番号、選択教科の欄の記入及びマークを間違えると失格になるので注意してください。
6. 解答は、全て「解答カード」の選択教科の解答欄にマークで記入してください。問題冊子に答えを書いても無効です。
7. マークは必ず黒鉛筆(HB)を使用して、枠内にきちんと記入してください。
訂正する時は、プラスチック製消しゴムで完全に消してください。また、「解答カード」を曲げたり折ったりしてはいけません。
「解答カード」が汚れた場合や折れてしまった場合は、試験監督者に「解答カード」の交換を申し出てください。
8. この試験の解答時間は、「始め。」の合図があってから 180 分です。
9. 試験が終わるまで退室できません。
10. 試験監督者の「やめ。」の合図があったら、直ちにやめてください。
11. 下書きには問題冊子の余白を使用してください。
12. 問題文中の「小学校学習指導要領」とは「小学校学習指導要領」(平成 29 年 3 月文部科学省告示第 63 号)における対応する教科の章又は節を指し、各教科の『小学校学習指導要領解説』とは文部科学省『小学校学習指導要領(平成 29 年告示)解説』(平成 29 年 7 月)の対応する教科のものを指すものとします。[マーク例]
13. 試験終了後、問題冊子を必ず持ち帰ってください。
14. 各教科のページ数は次ページの目次に記載しています。

(よい例) ●

(悪い例) ○ ○ ○ ○

目 次

1. 国 語	1
2. 社 会	8
3. 算 数	15
4. 理 科	23
5. 生 活	28
6. 音 楽	35
7. 図画工作	40
8. 家 庭	48
9. 体 育	54
10. 外 国 語(英語)	61

国語

問 1 「小学校学習指導要領」の「第 2 各学年の目標及び内容 2 内容〔知識及び技能〕」の(1)に示された「言葉の特徴や使い方に関する事項」に基づく当該学年の指導の在り方として最も適切なものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア 第 4 学年の児童に、日常よく使われる敬語を理解させるため、学校生活の中で敬語を使う場面を想定して、その場に合った敬語を考え、使うことができるよう指導する。

イ 第 2 学年の児童に、相手や場に応じて使い分けて話せるようにするため、全校集会などの改まった場面で発表するときは、丁寧な言葉で話すことができるよう指導する。

ウ 第 3 学年の児童に、敬体で書かれた文章に慣れるようにするため、敬体で書かれた教科書の文章の文末表現に注意して読み、すらすらと音読できるよう指導する。

エ 第 6 学年の児童に、敬体と常体との違いに注意して文章を書くことを理解させるため、「中学生になったら」という意見文を、「です」、「ます」の文末表現で書くことができるよう指導する。

問 2 「小学校学習指導要領」の「第 2 各学年の目標及び内容 2 内容〔知識及び技能〕」の(3)に示された「我が国の言語文化に関する事項」に基づく当該学年の指導の在り方として最も適切なものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア 第 6 学年の児童に、我が国の伝統的な言語文化を理解させるため、易しい文語調の短歌や俳句を音読し、その響きやリズムを楽しむことができるよう指導する。

イ 第 5 学年の児童に、生活の中にあることわざや慣用句、故事成語などに気付き、その意味を理解させるため、辞書で調べ、その言葉を使った短文を作るよう指導する。

ウ 第 1 学年の児童に、我が国の伝統的な言語文化に親しませるため、お話ボランティアが語る地域の昔話を聞き、話の面白さや独特の語り口調に親しみを感じられるよう指導する。

エ 第 4 学年の児童に、言語文化への興味・関心を深めるため、地域に伝わる子供歌舞伎に取り組ませ、昔の人々の生活や文化に触れるよう指導する。

問 3 次に示すのは、「小学校学習指導要領」の「第2 各学年の目標及び内容〔第3学年及び第4学年〕 2 内容〔思考力, 判断力, 表現力等〕 A 話すこと・聞くこと」の(1)に示された指導事項に基づく第3学年の学習活動である。この学習活動を行う際の指導として適切でないものを, 下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

【学習活動】

「今と昔の子供の様子を比べて発表しよう」という単元である。地域のおじいさんやおばあさんに, 昔の町の様子や暮らし, 子供時代の思い出などを聞き取る活動を行い, 学習発表会で, この活動を通して学んだことを発表する。

- ア 話の内容を予想して聞いたり, インタビュー後, 聞いた内容と自分が知っていることとを比べてたりしながら, 自分の考えをもつことができるよう指導する。
- イ 話し手であるおじいさんやおばあさんが伝えたいことの中心を捉えるために, 話の内容や話し方に着目して, 話の組み立て方を意識しながら話の要点を聞くよう指導する。
- ウ 話を聞くときには, 必要なことを記録したり, 質問したりしながら聞き, 重要な語句は何かを判断したり, 聞いた後に話の内容を振り返ったりするよう指導する。
- エ インタビューの際には, 自分はどのような情報を求めているのか, 聞いた内容をどのように生かそうとしているのかなど, その意図に応じて聞くよう指導する。

問 4 次に示すのは、「小学校学習指導要領」の「第2 各学年の目標及び内容〔第3学年及び第4学年〕 2 内容〔思考力、判断力、表現力等〕 B 書くこと」の(1)に示された指導事項に基づく第3学年の学習活動である。この学習活動を行う際の指導として適切でないものを、下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

【学習活動】

「仕事の工夫を見つけよう」という単元である。自分の身の回りで様々な工夫をしながら仕事をしている人々の様子を見学し、その工夫を見つけて、友達に報告する文章を書く活動を行う。

- ア 文章を書くときには、文と文を接続する語句や文末表現を工夫しながら、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係性を明確にして書くよう指導する。
- イ 文章を書くときには、書く目的や意図に応じて、簡単に書くか詳しく書くかということ判断しながら書き表し方を工夫し、自分の考えが効果的に伝わるように書くよう指導する。
- ウ 文章を書くときには、書きたい事柄かどうかを考えながら、読み手が理解しやすいように、集めた材料を事柄ごとに分類するなどの整理を行い、伝えたいことを明確にして書くよう指導する。
- エ 文章を書くときには、「冒頭部－展開部－終結部」といった構成を考え、それぞれの部分に何を書くのか、それらがどのようにつながるのかを意識して書くよう指導する。

問 5 「小学校学習指導要領」の「第2 各学年の目標及び内容〔第5学年及び第6学年〕 2 内容〔思考力、判断力、表現力等〕 C 読むこと」の(1)には、次の内容が示されている。この内容をねらいとした具体的な指導として最も適切なものを、下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

エ 人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすること。

- ア 文学的な文章を読む際、「何が書かれているか」という内容面だけでなく、「どのように描かれているか」という表現面にも着目して読み、物語の世界を豊かに想像するよう指導する。
- イ 文学的な文章を読む際、文章の内容や構造を精査・解釈しながら考えたり理解したりした内容を、今までに学習した内容と結びつけて、自分の考えをまとめるよう指導する。
- ウ 文学的な文章を読む際、登場人物の境遇や性格なども重要な要素になるため、物語全体を見通して、複数の叙述を基に行動や気持ちなどを捉えるよう指導する。
- エ 文学的な文章を読む際、登場人物の気持ちは、場面の移り変わりの中で揺れ動いて描かれることが多いので、複数の場面と結びつけながら、気持ちの変化を想像するよう指導する。

問 6 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

今井むつみ(2010).
ことばと思考

許諾を得ておらず不掲載

上の文章中の傍線部A「様々な言語のフィルターを通した様々な認識の枠組みが存在すること」の具体例として最も適切なものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 日本人と砂漠の国の人とでは、太陽に対するイメージが異なる。
- イ 「ガソリンスタンド」は外来語だと思っていたが、実は和製英語だということに気付いた。
- ウ 日本人は蛾と蝶を区別して呼んでいるが、フランス人はどちらもパピヨンと呼んでいる。
- エ 犬の鳴き声は日本では「ワンワン」と表現されるが、ほかの国では表現方法が異なる。

問 7 問6の文章で筆者が述べたいことを踏まえた小見出しとして最も適切なものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 多言語習熟の功罪
- イ 別の枠組みからの認識
- ウ 認識の多様性への気づき
- エ 言語が生まれた文化的背景

問 8 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

世に語り伝ふる事、まことはあいなきにや、多くは皆虚言なり。
あるにも過ぎて人は物を言ひなすに、まして、年月過ぎ、境も隔りぬれば、言ひたきまゝに語りなして、筆にも書き止めぬれば、やがて定まりぬ。

(日本古典評釈・全注釈叢書『徒然草』上巻)

上の文章の内容として適切でないものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 本当のことを言うと相手への思いやりに欠ける。
- イ 世間の人は実際にある事実以上に大げさに言う。
- ウ 嘘であっても、記録され時間が経つと事実になってしまう。
- エ 世間で語り伝えることは、でたらめなことが多い。

問 9 問 8 の文章は、吉田兼好によって書かれた随筆である。随筆が書かれた年代の古いものから順に正しく配列されているものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 『方丈記』 → 『枕草子』 → 『玉勝間』 → 『徒然草』
- イ 『枕草子』 → 『徒然草』 → 『方丈記』 → 『玉勝間』
- ウ 『方丈記』 → 『玉勝間』 → 『枕草子』 → 『徒然草』
- エ 『枕草子』 → 『方丈記』 → 『徒然草』 → 『玉勝間』

問10 漢文には、置き字と呼ばれる読まない文字が使われる。例文にある「於」という置き字は、「よりも」という比較の意味で用いられている。これと同じ意味で用いられている「於」を含むものを、下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。なお、設問の都合で返り点・送り仮名を省いている。

【例文】

苛政は虎よりも猛なり
苛政猛於虎也

ア 其劍自舟中墜於水
イ 霜葉紅於二月花
ウ 己所不欲、勿施於人
エ 青取之於藍

社 会

問 1 次の表は、『「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料 小学校 社会』（令和2年3月国立教育政策研究所）に示された第6学年の「グローバル化する世界と日本の役割」に関する評価規準(例)である。表中の空欄 ① ～ ④ に当てはまる語句の組合せとして最も適切なものを、下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>・我が国と経済や文化などの面でつながりの深い国の ① は、多様であることを理解しているとともに、 ② などを通して他国と交流し、異なる ③ を尊重し合うことが大切であることを理解している。</p> <p>・我が国は、平和な世界の実現のために国際連合の一員として重要な役割を果たしたり、諸外国の発展のために援助や協力を行ったりしていることを理解している。</p> <p>・地図帳や地球儀、各種の資料で調べ、まとめている。</p>	<p>・外国の ① の様子などに着目して、日本の ③ との違いを捉え、国際交流の果たす役割を考え、表現している。</p> <p>・ ④ で発生している課題の解決に向けた連携・協力などに着目して、国際連合の働きや我が国の国際協力の様子を捉え、国際社会において我が国が果たしている役割を考え、表現している。</p>	<p>・グローバル化する世界と日本の役割について、主体的に問題解決しようとしたり、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとしたりしている。</p>

①	②	③	④
ア 人々の生活	スポーツや文化	文化や習慣	地球規模
イ 人々の生活	儀式や行事	宗教や価値観	各地域
ウ 政治や経済	儀式や行事	宗教や価値観	地球規模
エ 政治や経済	スポーツや文化	文化や習慣	各地域

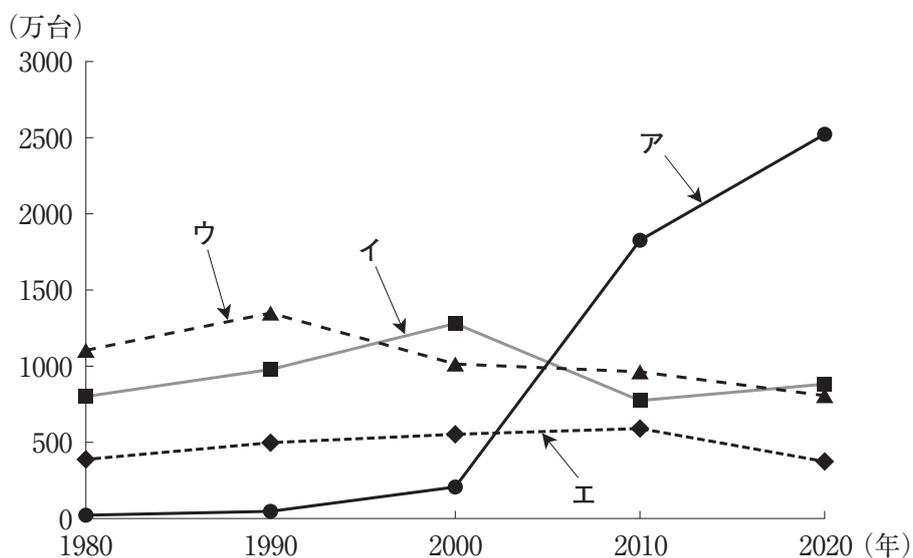
問 2 第3学年の内容「地域に見られる生産や販売の仕事」を扱う単元で、「販売の仕事は、消費者の多様な願いを踏まえ売り上げを高めるよう、工夫して行われていること」を理解させる学習を行うことにした。販売に携わっている人々の仕事の様子を捉える際に着目する視点として、「小学校学習指導要領」の内容を踏まえて適切でないものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 販売の仕方
- イ 他地域や外国との関わり
- ウ 産地の分布
- エ 消費者の願い

問 3 第3学年の内容「身近な地域や市区町村の様子」を扱う単元の学習で、地図記号について学習することにした。地図記号と建物の組合せとして適切でないものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

	地図記号	建物
ア		博物館
イ		警察署
ウ		小・中学校
エ		市役所

問 4 第 5 学年の内容「我が国の工業生産」を扱う単元で、自動車工業について学習を進め、主な国の自動車生産台数を調べることにした。次の図は、日本、アメリカ合衆国、中国、ドイツ^(注)の自動車生産台数の推移を示したものである。日本に該当するものを、図中のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。



「世界国勢図会 2019/20, 2022/23」より作成
(注) 1990年以前は旧西ドイツ

問 5 第 5 学年の内容「我が国の農業や水産業」を扱う単元について、「小学校学習指導要領」に基づく学習指導の在り方を述べた文として適切でないものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 食料生産の盛んな地域について、児童の身近な事例に絞って調べるように指導する。
- イ 稲作のほか、野菜、果物、畜産物、水産物などの中から一つを取り上げるように指導する。
- ウ 消費者や生産者の立場などから多角的に考えるように指導する。
- エ これからの農業などの発展について、自分の考えをまとめることができるように指導する。

問 6 第 5 学年の内容「我が国の国土の様子と国民生活」を扱う単元で、「低地に住む人々の暮らし」として、岐阜県海津市の「輪中」における人々の暮らしについて調べる学習を行うことにした。「輪中」とは、「木曾三川」と呼ばれる三つの河川の洪水から家や田畑を守るために、周りを堤防で輪のように囲んだ低地のことである。「木曾三川」に含まれない河川を、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 揖斐川
- イ 木曾川
- ウ 天竜川
- エ 長良川

問 7 第 6 学年の内容「我が国の歴史上の主な事象」を扱う単元について、「小学校学習指導要領」に基づく学習指導の在り方を述べた文として適切でないものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 狩猟・採集や農耕の生活，古墳，大和朝廷(大和政権)による統一の様子を手掛かりに，むらからくにへと変化したことを理解するように指導する。
- イ 大陸文化の摂取，大化の改新，大仏造営の様子を手掛かりに，天皇を中心とした政治が確立されたことを理解するように指導する。
- ウ キリスト教の伝来，関ヶ原の戦いを手掛かりに，戦国の世が統一されたことを理解するように指導する。
- エ 大日本帝国憲法の発布，日清・日露の戦争，条約改正，科学の発展などを手掛かりに，我が国の国力が充実し国際的地位が向上したことを理解するように指導する。

問 8 我が国の税の仕組みとして適切でないものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア 税金には、納税者と担税者が同じ直接税と、納税者と担税者が異なる間接税がある。直接税には、所得税、法人税、自動車税などが含まれ、間接税には、消費税、酒税、揮発油税などが含まれる。

イ 税負担の公平性に関する概念には、垂直的公平や水平的公平などの考え方がある。このうち、累進課税の方法が採られるのは、水平的公平の考え方に基づいている。

ウ ふるさと納税は、給与収入や家族構成などによって一定の上限額が定められているが、自分の選んだ自治体に寄附を行った場合、寄附額のうち 2,000 円を超える部分について、所得税と住民税から原則として全額が控除される制度である。

エ 間接税の持つ逆進性の側面とは、所得が低くなるにつれて、相対的に税負担が重くなることである。

問 9 第 6 学年の内容「我が国の政治の働き」を扱う単元について、日本国憲法第 73 条で定められた内閣の行う事務として適切でないものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア 外交関係を処理すること

イ 憲法改正の発議をすること

ウ 憲法及び法律の規定を実施するために、政令を制定すること

エ 大赦、特赦、減刑、刑の執行の免除及び復権を決定すること

問10 社会科は、主権者教育の推進において重要な役割を果たす教科である。『小・中学校向け主権者教育指導資料「主権者として求められる力」を子供たちに育むために』（令和4年文部科学省）を参考にしながら、主権者教育を進める社会科の単元構想として適切でないものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア 市の様子の移り変わりについて、インターネットなどで交通や公共施設、土地利用や人口などを具体例として調べながら、より住みやすい市にするための提案を考え、その提案について市役所職員に聞いてもらう機会を組み入れた単元を構想した。

イ 学校の所在する都道府県で起きた自然災害について調べるとともに、身近な地域で行われている、人々の命や暮らしを自然災害から守るための取組を調べ、自分たちにもできることを考える単元を構想した。

ウ 感染症による課題の解決や国民生活の支援のために国や地方公共団体が行っている取組について調べ、分かったことを話し合い、これからどのような対策が大切になるのかを考える単元を構想した。

エ 清掃などの当番活動や係活動等の自己の役割を自覚して協働することの意義を理解し、社会の一員として役割を果たすために必要となることについて主体的に考えて行動する単元を構想した。

算 数

問 1 次の文章は、『小学校学習指導要領解説』における「第2章 算数科の目標及び内容 第1節 算数科の目標 1 教科の目標 (2) 目標について」の「数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表したり目的に応じて柔軟に表したりする力」に関する記述である。文章中の空欄 ① ~ ③ に当てはまる語句の組合せとして最も適切なものを、下のア~エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

数学的に表現することは、事象を ① に考察する過程で、観察したり見いだしたりした数量や図形の性質などを的確に表したり、考察の結果や判断などについて ② を明らかにして筋道を立てて説明したり、既習の算数を活用する手順を順序よく的確に説明したりする場面が必要になる。数学的な表現を用いることで、事象をより簡潔、明瞭かつ的確に表現することが可能になり、③ に考えを進めることができるようになったり、新たな事柄に気付いたりすることができるようになる。

- | | ① | ② | ③ |
|---|-----|----|-----|
| ア | 数理的 | 結論 | 論理的 |
| イ | 論理的 | 根拠 | 発展的 |
| ウ | 論理的 | 結論 | 発展的 |
| エ | 数理的 | 根拠 | 論理的 |

問 2 『小学校学習指導要領解説』の「第 2 章 算数科の目標及び内容 第 2 節 算数科の内容 1

内容構成の考え方 (1) 算数科の内容について」には、小学校算数科の内容の骨子として、次の

①～⑧が示されている。空欄 ～ に当てはまる語句の組合せとして最も適切なものを、下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ① 数概念の形成とその の理解，計算の構成と習得
- ② 図形概念の形成と基本的な図形の性質の理解
- ③ 量の把握とその測定の方法の理解
- ④ 事象の変化と数量の関係の把握
- ⑤ の考察
- ⑥ 筋道を立てて考えること
- ⑦ 数学的に表現すること
- ⑧ 数学的に こと

	A	B	C
ア	表現	統計的なデータ	考察する
イ	表現	不確定な事象	伝え合う
ウ	構造	統計的なデータ	伝え合う
エ	構造	不確定な事象	考察する

問 3 「小学校学習指導要領」の「第 2 各学年の目標及び内容〔第 6 学年〕 2 内容 A 数と計算」

には、「(2) 数量の関係を表す式に関わる数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する」と示されている。第 6 学年において身に付ける知識及び技能として最も適切なものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 四則の混合した式や()を用いた式について理解し、正しく計算すること。
- イ 数量の関係を表す式について理解するとともに、数量を□などを用いて表し、その関係を式に表したり、□などに数を当てはめて調べたりすること。
- ウ 数量を表す言葉や□、△などの代わりに、 a 、 x などの文字を用いて式に表したり、文字に数を当てはめて調べたりすること。
- エ 数量の関係を表す式についての理解を深めること。

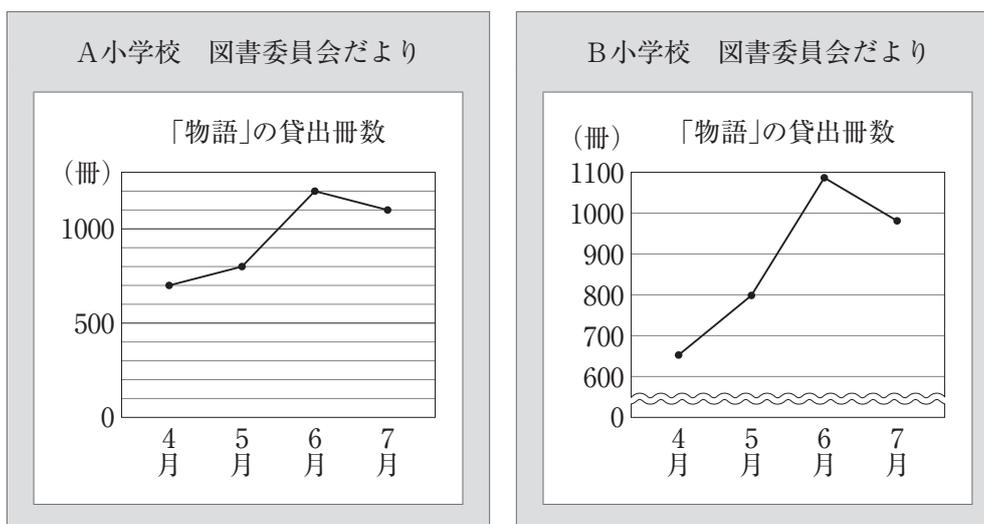
問 4 「小学校学習指導要領」の「第2 各学年の目標及び内容」の第4学年から第6学年における「2 内容 C 変化と関係」では、伴って変わる二つの数量の変化や対応の特徴を考察することとして、「表や式」「折れ線グラフ」「簡単な場合についての比例の関係」「比例の関係」「比例の関係を
用いた問題解決の方法」「反比例の関係」が示されている。それぞれの内容が指導される学年の組合せとして最も適切なものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

	第4学年	第5学年	第6学年
ア	表や式, 折れ線グラフ	簡単な場合についての比例の関係	比例の関係, 比例の関係を 用いた問題解決の方法, 反比例 の関係
イ	表や式, 折れ線グラフ, 簡単な 場合についての比例の関係	比例の関係, 比例の関係を 用いた問題解決の方法	反比例の関係
ウ	表や式, 折れ線グラフ, 簡単な 場合についての比例の関係	比例の関係	比例の関係を 用いた問題解決の方法, 反比例 の関係
エ	折れ線グラフ, 簡単な場合 についての比例の関係	表や式, 比例の関係	比例の関係を 用いた問題解決の方法, 反比例 の関係

問 5 次の状況は、『小学校学習指導要領解説』の「第3章 各学年の目標及び内容 第4節 第4学年の目標及び内容 2 第4学年の内容 D データの活用 D(1) データの分類整理」で示された「折れ線グラフの特徴と使い方」に関するものである。

【状況】

ある二つの小学校の図書委員会が協力して読書運動を進めている。それぞれの学校の図書委員が、読書運動を進めた成果を表すために、「物語」の貸し出し冊数の変化の様子を、以下のように折れ線グラフにそれぞれまとめた。

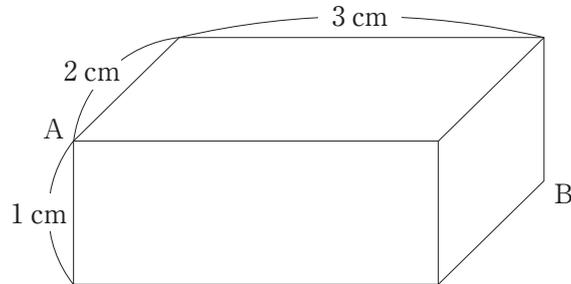


どちらの学校の読書運動がうまくいったのかを比較しやすくするために、これらの折れ線グラフをどのように作り替えたらいいか。次の①～④のうち、最も適切なものの組合せを、下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ① グラフ上の点を滑らかな線で結ぶ。
- ② 二つのグラフの縦軸の目盛りの幅を同じにする。
- ③ 一方のグラフにのみ省略の記号を用いないようにする。
- ④ B小学校のグラフの目盛りを細かくする。

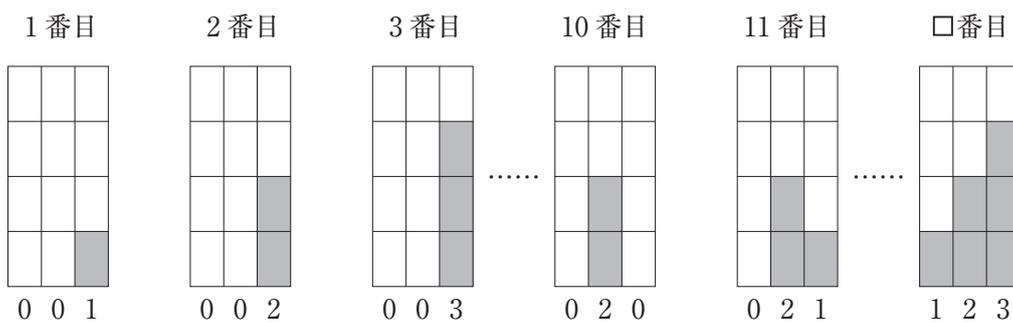
- ア ①②
- イ ①④
- ウ ②③
- エ ②④

問 6 次の図は、縦 2 cm、横 3 cm、高さ 1 cm の直方体である。この直方体の面の上を、頂点 A から頂点 B まで移動するとき、最短経路の長さは何 cm か。最も適切なものを、下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。



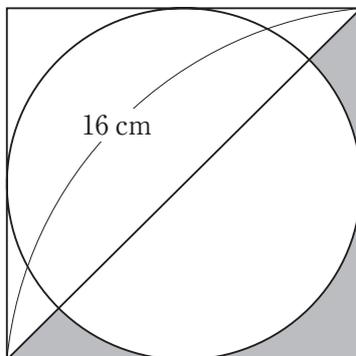
- ア $\sqrt{26}$ cm
- イ 6 cm
- ウ $2\sqrt{5}$ cm
- エ $3\sqrt{2}$ cm

問 7 次の図のように、1 番目は「001」、2 番目は「002」、3 番目は「003」…… 10 番目は「020」、11 番目は「021」……と表すとき、「123」と表すのは何番目になるか。最も適切なものを、下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。



- ア 33 番目
- イ 38 番目
- ウ 48 番目
- エ 63 番目

問 8 次の図のように、対角線の長さが 16 cm の正方形に円が内接している。灰色部分の面積として最も適切なものを、下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。ただし、円周率は π とする。



- ア $64 - 16\pi \text{ cm}^2$
- イ $128 - 32\pi \text{ cm}^2$
- ウ $32 - 128\pi \text{ cm}^2$
- エ $16 - 32\pi \text{ cm}^2$

問 9 全体集合を $U = \{1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9\}$ とし、その部分集合を $A = \{2, 4, 6, 8\}$, $B = \{3, 6, 9\}$ とする。集合 A, B の補集合をそれぞれ \bar{A}, \bar{B} とするとき、 $\bar{A} \cap B, A \cup \bar{B}$ の組合せとして最も適切なものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- | | |
|----------------------------------|--|
| ア $\bar{A} \cap B = \{3, 9\}$ | $A \cup \bar{B} = \{2, 3, 4, 5, 6, 8, 9\}$ |
| イ $\bar{A} \cap B = \{3, 9\}$ | $A \cup \bar{B} = \{1, 2, 4, 5, 6, 7, 8\}$ |
| ウ $\bar{A} \cap B = \{1, 5, 7\}$ | $A \cup \bar{B} = \{1, 2, 3, 4, 5, 7, 8\}$ |
| エ $\bar{A} \cap B = \{1, 5, 7\}$ | $A \cup \bar{B} = \{2, 3, 4, 5, 6, 8, 9\}$ |

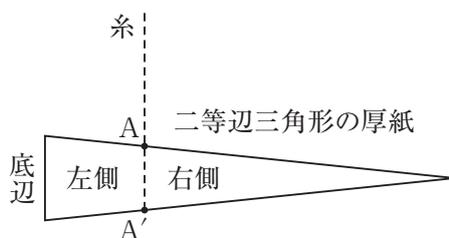
問10 次の表は、6年松組の児童20人の登校時刻を調べ、整理したものである。6年松組の登校時刻の中央値として最も適切なものを、下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

登校時刻	人数(度数)	累積度数
7時40分	1	1
7時43分	1	2
7時52分	2	4
7時58分	1	5
8時2分	1	6
8時5分	2	8
8時6分	2	10
8時10分	1	11
8時12分	1	12
8時15分	3	15
8時20分	2	17
8時25分	3	20

- ア 8時6分
- イ 8時8分
- ウ 8時10分
- エ 8時12分

理 科

問 1 第 6 学年において「てこの規則性」を学習する。厚紙を二等辺三角形に切って次の図のように糸で吊るしたとき、糸の位置を A-A' にしたところできつり合った。その後、厚紙を A-A' の線で切って左右に分けたときの左側と右側の重さについて最も適切なものを、下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。ただし、厚紙の厚さは均一で、変形せず、A-A' は二等辺三角形の底辺と平行であるとする。



- ア 左側の方が重い。
- イ 右側の方が重い。
- ウ 左右は同じ重さとなる。
- エ 左右の重さは、三角形の形にも依存するので、一概には言えない。

問 2 第 6 学年の内容「人の体のつくりと働き」を扱う単元で、呼吸について学習する。ビニール袋の中の空気を 2, 3 回吸ったり吐いたりした後、ビニール袋の口を縛って密封し、そこに気体検知管を差し込んで中の酸素と二酸化炭素の濃度を調べた。その結果として最も適切なものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

	酸素濃度	二酸化炭素濃度
ア	約 18 %	約 0.03 %
イ	約 21 %	約 0.03 %
ウ	約 18 %	約 4 %
エ	約 21 %	約 4 %

問 3 第 6 学年の内容「電気の利用」を扱う単元で、蓄電について学習する。手回し発電機を使ってコンデンサーに電気を蓄える実験を行うとき、児童への指示として最も適切なものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア 手回し発電機のハンドルを回す回数が同じであれば、蓄えられる電気の量は変わらないので、回し方は速くても遅くてもよい。

イ コンデンサーの端子には＋や－がないため、手回し発電機につなぐ際は、発電機の＋極と－極をコンデンサーのどちらの端子につないでもよい。

ウ 手回し発電機のハンドルは、常に可能な限り力いっぱい速く回すのがよい。

エ 逆流防止装置のない手回し発電機では、電気を蓄えたコンデンサーに手回し発電機をつなげたままにしておくと、コンデンサーから発電機に電流が逆流するので、蓄電した後は発電機とコンデンサーを切り離しておくとうい。

問 4 「小学校学習指導要領」の「第 2 各学年の目標及び内容〔第 5 学年〕 2 内容 A 物質・エネルギー (1) 物の溶け方」に示された内容として適切でないものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア 物が水に溶けても、水と物とを合わせた重さは変わらないこと。

イ 物が水に溶ける量には、限度があること。

ウ 物が水に溶ける量は、その物の溶解度と関連があること。

エ 物が水に溶ける量は水の温度や量、溶ける物によって違うこと。また、この性質を利用して、溶けている物を取り出すことができること。

問 5 第 6 学年において「水溶液の性質」を学習する。水溶液に関する内容として適切でないものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア 石灰水は水酸化カルシウム(消石灰)が溶けた水溶液であり、酸性を示す。

イ 塩酸は塩化水素が溶けた水溶液であり、酸性を示す。

ウ 炭酸水は二酸化炭素が溶けた水溶液であり、酸性を示す。

エ アンモニア水はアンモニアが溶けた水溶液であり、アルカリ性を示す。

問 6 第 6 学年の内容「人の体のつくりと働き」を扱う単元で、消化について学習する。でんぷんの消化に関する記述として最も適切なものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア でんぷんは、そのままでも小腸から吸収される。

イ でんぷんは、だ液によってブドウ糖に分解される。

ウ でんぷんは、だ液だけでなく、^{すい}膵臓から分泌される膵液中のアミラーゼによっても分解される。

エ でんぷんだけが溶けた溶液に青いベネジクト液を加えて加熱すると、だんだん色が薄くなり、やがて赤褐色の沈澱が生じる。

問 7 第 3 学年の内容「光と音の性質」を扱う単元で、光の当て方と明るさや暖かさの関係について学習する。光の明るさや暖かさに関する内容として最も適切なものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア 光のエネルギーは波長が短いほど大きいため、波長が短いほど暖かい。

イ 光で感じる暖かさは、光の強度だけでなく、波長にも関係する。

ウ 太陽からの光は平行であり、いわゆる電磁波ではない。

エ 水分子は 1 分子でも全ての波長の赤外線を一様に吸収できるため、水は赤外線ですぐ暖かい。

問 8 第 4 学年において「月と星」を学習する。星(恒星)に関する内容として適切でないものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア ベガ、アルタイル、デネブの三つの星を結んでできる形を夏の冬の大三角という。

イ ベテルギウス、シリウス、プロキオンの三つの星を結んでできる形を冬の冬の大三角という。

ウ 北斗七星と北極星は、おおぐま座に含まれている。

エ さそり座のアンタレスが赤色、こと座のベガが白色に見えるのは、星の表面の温度が違うためである。

問 9 第 5 学年において「流れる水の働きと土地の変化」を学習する。河川に関する用語の説明として適切でないものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア 河川の下流から上流に向かって右側を右岸，左側を左岸という。

イ 流れる水が地面を削る働きを侵食，削られた土や石を運ぶ働きを運搬，流されてきた土や石を積もらせる働きを堆積という。

ウ 洪水とは，一般的には，川から水があふれ氾濫することをいう。ただし，河川管理上は，氾濫を伴わなくても，降雨・雪解けなどによって，河川の水量が平常よりも増加することを洪水という。

エ 砂防ダムとは，山肌の侵食や河川の土砂の流出を防ぐために設けられたダムの一種をいう。

問10 第 6 学年の内容「土地のつくりと変化」を扱う単元で学習する事項として適切でないものを，次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア 火山

イ 高潮

ウ 地層

エ 地震

生 活

問 1 第 1 学年において「がっこう たのしいな」という単元の授業を行う。学校で見つけたものを伝え合う学習をする際に配慮することとして適切でないものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア これまで作ってきた学校の絵地図や、探検中の写真や動画を使い、探検したことを想起できるようにする。

イ 友達の発表を見てイメージをもち、安心して自分の発表ができるようにする。

ウ 発表に戸惑っている児童には、言葉を補ったり質問したりして話せるようにする。

エ 学校生活では、一人で自立して活動したり、学んだりしなければならないことに気付けるようにする。

問 2 第 1 学年において「じぶんで やろう」という単元の授業を行う。家庭で自分ができることに取り組む学習をする際に留意することとして適切でないものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア 児童には学習活動への見通しがもてるようにし、各家庭には家庭の状況を比較する学習ではないことを伝える。

イ 前時からの学びの変容が分かるように、前時のワークシートに書き加えていたり、黒板に既習事項を提示したりする。

ウ 導入では、基本的な生活習慣の観点から「良い」とされる生活スタイルを提示した上で、家庭での一日の生活について話し合う場を設ける。

エ 振り返りを通して「これからも続けたい」という児童の思いや願いを引き出し、次時の学習につなげる。

問 3 第1学年における「ふゆの たのしみ」という単元の授業で、外で遊ぶ学習をする際に留意することとして適切でないものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 必ず一定の条件を決めて同じ遊ぶ物を作ったり、競争したりして、友達と楽しみながら遊ぶ児童の姿を見取る。
- イ これまでの経験を基に、どんな遊びをしたいか話し合う場を設け、児童が学習活動への見通しをもてるようにする。
- ウ 遊び始めは、全身で風を感じる時間を十分にとり、遊びの中では児童の姿や発する言葉などから児童なりの気づきを見取り、共感する。
- エ グループで児童の気づきを交流し、さらに全体の場で紹介し合う時間と場を設定する。

問 4 第2学年における「生きものをそだてよう」という単元の授業で、生き物を飼育する活動を行う際に留意することとして適切でないものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア ダンゴムシを飼育する場合は、飼育ケースの中に腐葉土や隠れ家になるものを入れておくのがよい。
- イ メダカを飼育する場合は、水槽に砂を敷き、くみ置きした水の中に小石や水草を入れておく。えさはミジンコや市販のえさなどがよい。
- ウ トンボを飼育する場合は、蓋付きの水槽で水の中に木の枝などを入れておく。ヤゴのときのえさはミミズやイトミミズ、赤虫などである。
- エ アメリカザリガニを飼育する場合は、蓋付きの水槽で水の中に砂や水草などを入れておく。えさは昆虫や小魚である。観察が終わったら自然に帰す。

問 5 第 2 学年における「町のしせつをつかおう」という単元の授業で、図書館を利用する活動を行う際に留意することとして適切でないものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア 図書館を利用するに当たって、どんなことに気を付けたらよいか、利用したことのある児童の発言を基にルールやマナーについて話し合っておく。

イ 館内の人の迷惑にならないよう、気に入った本を 2, 3 冊見付け、静かに読書してから学校に戻り、本の内容を中心に話し合う。

ウ 図書館の職員に許可をもらった上で、「カウンター」「カート」「司書」「ボランティア」など、児童にとって見慣れないものは撮影しておき、後で情報を共有できるようにする。

エ 振り返りの場面では、図書館を利用する前の思いや願いが、利用してどう変わったか、互いに教え合う場を設ける。

問 6 第 2 学年における「明日へジャンプ」という単元の授業で、自分自身の生活や成長を振り返る活動を行う際に留意することとして適切でないものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア 自分の成長を一人で振り返ることは、児童にとって難しいため、入学当初の絵や写真などを手掛かりに、クラスの全員が入学から現在までを振り返り、一律に過去から順にたどるようにする。

イ 去年着ていた服が着られなくなったことから、体が大きくなったことを実感したり、食べ物の好き嫌いが減り、給食で食べる量が増えたことに気付いたりできるようにする。

ウ 家で食事の片付けやお風呂掃除など、家族の役に立てたことを思い出し、優しい気持ちや他者への思いやりなど、内面的な成長にも気付けるようにする。

エ 児童の誕生や生育に関わる事柄を扱ったり、家族へのインタビューを行ったりする場合は、家庭環境や生育歴などに十分配慮し、家庭と連携を図りながら進めることが大切である。

問 7 『小学校学習指導要領解説』の「第 2 章 生活科の目標 第 1 節 教科目標 2 教科目標の趣旨 (1) 具体的な活動や体験を通すこと」及び「(2) 身近な生活に関わる見方・考え方を生かすこと」に示された内容として適切でないものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア 具体的な活動や体験とは、例えば、見る、聞く、触れる、作る、探す、育てる、遊ぶなどして対象に直接働きかける学習活動であり、また、そうした活動の楽しさやそこで気付いたことなどを言葉、絵、動作、劇化などの多様な方法によって表現する学習活動である。

イ 直接働きかけるということは、児童が身近な人々、社会及び自然に一方的に働きかけるのではなく、それらが児童に働き返してくるという、双方向性のある活動が行われることを意味する。

ウ 見方・考え方とは、各教科等における学びの過程で「どのような視点で物事を捉え、どのような考え方で思考していくのか」ということであり、各教科等を学ぶ本質的な意義でもある。

エ 生活科における見方・考え方は、学校生活における見方・考え方であり、それは友達、家族及び地域を様々な人間関係との関わりで捉え、自分の夢や願いを実現しようとするものである。

問 8 『小学校学習指導要領解説』の「第 4 章 指導計画の作成と内容の取扱い 1 指導計画作成上の配慮事項」に示された内容として適切でないものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア 年間や、単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成に向けて、児童の主体的・対話的で深い学びの実現を図るようにすること。「年間」という文言が付け加えられているのは、生活科の特質による固有なものである。

イ 九つの内容を、2 学年間を見通して効果的に配置する。スタートカリキュラムが編成される第 1 学年の時期、国語科や算数科の基礎を育成する第 2 学年の時期といった、児童の成長や認知の特性の違いを意識することが大切である。

ウ 生活科の学習効果を上げるためには、児童が他教科等において身に付けた資質・能力を適切に生かして活動を展開する必要がある。

エ 低学年の時期に、思いや願いを存分に発揮しながら体験を通して学ぶことで、中学年以降の学びを支える資質・能力を育成していくことにつながる。

問 9 次の各文は、『小学校学習指導要領解説』の「第5章 指導計画の作成と学習指導 第1節 生活科における指導計画と学習指導の基本的な考え方 1 カリキュラム・マネジメントを意識した指導計画の作成」に示された内容である。文中の空欄 ① ～ ④ に当てはまる語句の組合せとして最も適切なものを、下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ・ 指導計画を作成するに当たっては、児童の実態や地域の特性、授業時数などを考慮し、
① で独自に構成した単元や学習活動を適切に配置することを心がけなければならない。
- ・ 年間指導計画は2学年間を見通し、
② と相互に関連させながら作成することが求められる。
- ・ 教育課程の編成に当たっては、生活科の特質を踏まえ、幼児期における遊びを通じた
③ 学びから各教科等の特質に応じた ④ 学びへと円滑に移行していくことを意識することが大切である。

	①	②	③	④
ア	各市町村	各教科等	総合的な	専門的な
イ	各学校	各教科等	自覚的な	専門的な
ウ	各学校	各単元計画	総合的な	系統的な
エ	各市町村	各単元計画	自覚的な	系統的な

問10 次の各文は、『小学校学習指導要領解説』の「第5章 指導計画の作成と学習指導 第4節 学習指導の進め方」に示された内容である。文中の空欄 ① ～ ④ に当てはまる語句の組合せとして最も適切なものを、下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ・ 生活科の学習指導は、児童の思いや願いを実現する体験活動を充実させるとともに、
① 活動を工夫し、体験活動と ① 活動とが豊かに行きつ戻りつする相互作用を意識する。
- ・ 生活科の学習指導では、学級全体の中に、② を尊重する風土を醸成し、互いが異なることを認め合える雰囲気作りをしていくことが大切である。
- ・ 教師は、児童に寄り添い、共感し、共に動き、③ などを行い、教師自身が児童にとって豊かさを感じられる ④ の一部となるように努めなければならない。

	①	②	③	④
ア	表現	個性	それぞれのよさを認める	対象
イ	交流	個性	小さな変化に目を止める	環境
ウ	交流	多様性	それぞれのよさを認める	対象
エ	表現	多様性	小さな変化に目を止める	環境

音 楽

問 1 次の文は、「小学校学習指導要領」の「第1 目標」の(3)に示された内容である。文中の空欄 に当てはまる語句として最も適切なものを、下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情と音楽に対する を育むとともに、音楽に親しむ態度を養い、豊かな情操を培う。

- ア 感性
- イ 見方・考え方
- ウ 知識
- エ 思い

問 2 次の文は、「小学校学習指導要領」の「第3 指導計画の作成と内容の取扱い」の2に示された内容である。文中の空欄 に当てはまる語句として最も適切なものを、下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

(8) 各学年の〔共通事項〕に示す「音楽を形づくっている要素」については、児童の発達の段階や指導のねらいに応じて、次のア及びイから適切に選択したり関連付けたりして指導すること。

ア 音楽を特徴付けている要素
 , リズム, 速度, 旋律, 強弱, 音の重なり, 和音の響き, 音階, 調, 拍, フレーズなど

イ 音楽の仕組み
反復, 呼びかけとこたえ, 変化, 音楽の縦と横との関係など

- ア 拍子
- イ 形式
- ウ 倍音
- エ 音色

問 3 次の文は、「小学校学習指導要領」の「第3 指導計画の作成と内容の取扱い」の2に示された内容である。文中の空欄 に当てはまる語句として最も適切なものを、下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

(4) 各学年の「A 表現」の(1)の歌唱の指導に当たっては、次のとおり取り扱うこと。
 (中略)
 イ 相対的な音程感覚を育てるために、適宜、 を用いること。

- ア 固定ド唱法
- イ 移動ド唱法
- ウ 頭声的発声
- エ 腹式呼吸

問 4 次の楽譜は、橋本国彦作曲《スキーの歌》の一部である。※1の部分の階名唱として最も適切なものを、下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア ニーホーニーハーローニートーイーロ
- イ レーミーレードーシーレーソーラーシ
- ウ ソーラーソーファーミーソードーレーミ
- エ ラーシーラーソーファーラーレーミーファ

問 5 問 4 の曲の※ 2 の部分のコードネームとして最も適切なものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア D_m
- イ D
- ウ F[#]
- エ A₇

問 6 木管楽器でないものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア フルート
- イ イングリッシュホルン
- ウ クラリネット
- エ コルネット

問 7 次の楽譜を、指示された繰り返し記号で演奏すると全部で何小節になるか。下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

The musical score consists of three staves. The first staff has a treble clef and a key signature of one sharp (F#). It contains a first ending bracket labeled '1.' and a second ending bracket labeled '2.'. The second staff starts with a double bar line and a repeat sign (two dots), followed by a treble clef and a key signature of one sharp. It contains a 'To ⊕' marking. The third staff starts with a treble clef and a key signature of one sharp, followed by a 'D.S.' marking. The fourth staff starts with a treble clef and a key signature of one sharp, followed by a '⊕ Coda' marking.

- ア 21 小節
- イ 22 小節
- ウ 23 小節
- エ 24 小節

問 8 速度を指示する楽語を，次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

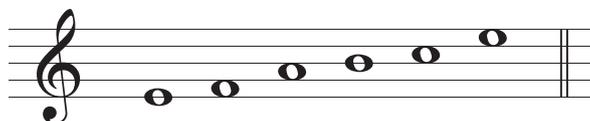
- ア piccolo
- イ presto
- ウ legato
- エ marcato

問 9 次の各曲について，作曲年代の古いものから順に正しく配列されているものを，下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ① ショパン作曲 《12の練習曲》 Op. 10
- ② パレストリーナ作曲 《教皇マルチェルスのみサ曲》
- ③ レノン＝マッカートニー作曲 《イエスタデイ》
- ④ 宮城道雄作曲 《春の海》

- ア ① → ③ → ② → ④
- イ ① → ③ → ④ → ②
- ウ ② → ① → ③ → ④
- エ ② → ① → ④ → ③

問10 次の音階は，日本の伝統的な音階の一つである。この音階でできている曲を，下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。



- ア 《さくらさくら》
- イ 《ソーラン節》
- ウ 《ひえつき節》
- エ 《谷茶前》

图画工作

問 1 次の表は、「小学校学習指導要領」の「第2 各学年の目標及び内容」に示された「思考力、判断力、表現力等」に関する各学年の目標をまとめたものである。表中の空欄 ① ～ ⑧ に当てはまる語句を下の語群から選択し、その組合せとして最も適切なものを、解答群ア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

学年	目標
第1学年 及び 第2学年	造形的な ① , 表したいこと, 表し方などについて考え, ② 発想や構想をしたり, ③ 作品などから自分の見方や感じ方を ④ たりすることができるようにする。
第3学年 及び 第4学年	造形的なよさや面白さ, 表したいこと, 表し方などについて考え, 豊かに発想や構想をしたり, 身近にある作品などから自分の見方や感じ方を ④ たりすることができるようにする。
第5学年 及び 第6学年	造形的な ⑤ , 表したいこと, 表し方などについて考え, ⑥ 発想や構想をしたり, ⑦ 作品などから自分の見方や感じ方を ⑧ たりすることができるようにする。

- [語群] A よさや楽しさ B よさや美しさ C 面白さや楽しさ
 D 親しみのある E 深め F 自分や友達の
 G 身の回りの H 創造的に I 自由に
 J 広げ K 楽しく

[解答群]

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
ア	A	I	G	E	C	K	F	J
イ	C	K	G	J	B	H	D	E
ウ	A	I	F	J	B	K	D	E
エ	C	K	F	E	B	H	G	J

問 2 次の①～⑨の文は、『小学校学習指導要領解説』の「第2章 図画工作科の目標及び内容 第2節 図画工作科の内容 1 内容の構成 (1) 『A表現』」に示された内容である。「造形遊びをする」活動と、「絵や立体，工作に表す」活動の説明として最も適切な組合せを，下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ① 材料に働きかけ，形や色などを捉えることから始まる。
- ② およそのテーマや目的を基に作品をつくらうとすることから始まる。
- ③ 自分の表したいことを基に，これを実現していこうとする。
- ④ 身近にある自然物や人工の材料，その形や色などから思い付いた造形活動を行うものである。
- ⑤ 感じたこと，想像したこと，見たことなどから児童が表したいことを表す。
- ⑥ 自分の表したいことを，形や色，イメージなどを手掛かりに，材料や用具を使ったり，表し方などを工夫したりしながら作品に表す。
- ⑦ 結果的に作品になることもあるが，始めから具体的な作品をつくることを目的としない。
- ⑧ テーマや目的，用途や機能などに沿って自分の表現を追求していく性質がある。
- ⑨ 思い付くままに試みる自由さなどの遊びの特性を生かしたものである。

	「造形遊びをする」活動	「絵や立体，工作に表す」活動
ア	① ③ ④ ⑤ ⑦ ⑨	② ⑥ ⑧
イ	① ③ ④ ⑦ ⑨	② ⑤ ⑥ ⑧
ウ	① ④ ⑦ ⑨	② ③ ⑤ ⑥ ⑧
エ	④ ⑦ ⑨	① ② ③ ⑤ ⑥ ⑧

問 3 中学年における「絵に表す」活動では，様々なモダンテクニックを体験する場面がある。モダンテクニックの中でも「はじき絵(バチック)」と呼ばれる技法の説明として最も適切なものを，次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア ワックス，蠟ろうなどの成分が水を弾く効果によって模様を得る。
- イ 画面上に垂らした絵の具にストローなどで息を吹きかけ，弾けたような模様を得る。
- ウ 筆などに含ませた絵の具を画面上で弾くことによって模様を得る。
- エ 絵の具を含ませた歯ブラシなどで網をこすり，弾けたような模様を得る。

問 4 高学年における「絵に表す」活動では、多様な絵の具を使用して着彩を行う。次の①～⑤の用途に適した絵の具の種類を下の語群から選択し、その組合せとして最も適切なものを、解答群ア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ① 重色による色の変化を生かすのに、より適した絵の具
- ② 耐水性は乏しいが、不透明水彩絵の具と同様に扱うことのできる絵の具
- ③ 乾くと耐水性があり、重色しても先に塗った色と混ざらない絵の具
- ④ 布などに色を付けるのに適した絵の具
- ⑤ 金属やガラス、プラスチックなどへの着色に適した絵の具

[語群] A 染料 B アクリルガッシュ C 透明水彩絵の具
 D ラッカー系(一般にペンキ) E ポスターカラー

[解答群]

	①	②	③	④	⑤
ア	B	D	E	C	A
イ	B	E	C	A	D
ウ	C	A	D	B	E
エ	C	E	B	A	D

問 5 高学年における「立体に表す」活動で、「立ち上がれ！ワイヤーアート」という授業を行う。その際に配慮する事項として、次の①～④のうち適切でないものが幾つあるかを、下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ① 軟らかく加工しやすいアルミ針金と、強度はあるが細かな細工はしにくいスチール針金など、2種類以上を用意しておくとうい。
- ② 練習用に、針金を児童が扱いやすい長さに切って準備しておくとうい。
- ③ 木の土台などを活用するのもよいが、作品のサイズが限定されてしまうため、土台となる部分のつくり方や立たせ方を工夫するよう促し、作品が自立できるように支援する。
- ④ 曲げ方や巻き方、切り方を工夫することで、多様な形をつくれると気付くことができるように、導入時にペンチやラジオペンチを使って針金を自由に曲げたり、針金同士をつなげたりして試す時間を設けるとよい。

- ア 三つ
- イ 二つ
- ウ 一つ
- エ なし

問 6 「立体に表す」活動では、身近な自然物を材料にして造形活動を行うことがある。次の各文は、
 中学年において、木の枝や葉、木の実などを使って動物をつくる造形活動を行う際の実践のねら
 いの例である。文中の空欄 ① ～ ④ に当てはまる語句を下の語群から選択し、そ
 の組合せとして最も適切なものを、解答群ア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ・ 自然物の ① を見ながら、つくりたい動物のイメージを膨らませる。
- ・ 採集や加工の中で自然物の材料の ② を体感する。
- ・ 用具を使用した加工体験を通し、基礎的な ③ を習得する。
- ・ 互いの作品を鑑賞し、作品表現の ④ や可能性に気付く。

[語群] A 知識 B 技能 C 形
 D よさ E 感触 F ダイナミックさ

[解答群]

	①	②	③	④
ア	C	D	A	F
イ	E	D	B	F
ウ	F	E	A	D
エ	C	E	B	D

問 7 高学年における「工作に表す」活動では、木材を材料として活用する場合がある。木材に関する
 記述として適切でないものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア 木材は種類によって性質が異なるが、同じ種類であっても、木目の方向による強弱があり、
 扱い方で強度に差が出る。

イ 板材の樹心側の面を木表、樹皮側の面を木裏という。

ウ 合板は、一般に薄い板材を繊維方向が互いに直行するように奇数枚貼り合わせた板である。

エ 合板の利点は、伸縮が少なく、割れたり裂けたりしないこと、また、厚さや大きさが豊富で
 あるため、用途によって選びやすいことである。

問 8 中学年における「工作に表す」活動で、「とびだすカード(ポップアップカード)でつたえる気持ち」という授業を行う際に配慮する事項として適切でないものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア 飛び出す仕組みについて理解しやすいように仕組みのサンプルを用意したり、試しにつくれる材料を用意したりする。

イ 伝えたい相手や伝えたい内容に合う形や色、飛び出す仕組みを考えるよう促す。

ウ 教科書の作品例に影響されないように製作中は教科書を見ないように指導したり、作品の見せ合いは最後に行うよう配慮したりする。

エ 友人と互いのカードを実際に動かしながら見せ合い、造形的なよさや面白さ、表し方の違いを感じ取り、伝え合う活動を取り入れる。

問 9 中学年における「造形遊び」をする活動で、「ぬのをつないで」という授業を行う際に配慮する事項として適切でないものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア 布をつなぐときは布同士を結んだり、穴を開けてひもで結んだり、クリップや洗濯ばさみなどを準備して活用したりするように促す。

イ 活動場所は、遊具や、遊具と遊具の間、木立と遊具の間など、布をつなぐことができる空間を教師があらかじめ見付けておく。

ウ 必要以上に高い所に布を結ぶことや、遊具に登ることが目的とならないように、活動の際の注意点を児童と確認しておく。

エ 活動場所は事前に児童に確認させ、教室で完成予想図を基に活動に使う布やつなぎ方などの計画を立ててから、活動場所へ移動するように指導する。

問10 高学年における「鑑賞」する活動で、「アート・カードを使って」という授業を行う際に配慮する事項として適切でないものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア アート・カードを使ったゲームを通して感じたことを伝え合う中で、自他の感じ方の相違を知り、見方や考え方を広げられるような声かけや雰囲気づくりを心掛ける。

イ アート・カードの作品の背景や作者などの情報に固執することなく、自分が感じたり考えたことを大切にしていくように伝える。

ウ 児童が自分の見方や感じ方を深めるために、自分が作品と向き合う時間を重視し、友人と一緒に作品を見る時間は余剰時間で補うようにする。

エ 既成のアート・カードを使うのもよいが、児童が自分たちでカードをつくって「題名を付ける」ゲームを行うのもよい。

家 庭

問 1 『小学校学習指導要領解説』の「第 2 章 家庭科の目標及び内容 第 3 節 家庭科の内容 A 家族・家庭生活 (3) 家族や地域の人々との関わり」に関する内容として適切でないものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア 地域の中で共に生活しているという視点で、幼児又は低学年の児童や高齢者など異なる世代の人々と関わるができるよう配慮する。

イ 家族との関わりの中で、自分の思いがうまく伝わらなかったり、自分の考えが分かってもらえなかったりしたときに、自分の思いの表し方を工夫したり、相手の立場を理解したりすることが必要であることに気付くようにする。

ウ 地域の人々との関係をよりよいものにするために、小学生の自分としてではなく、将来大人になったときに何ができるかを検討できるようにする。

エ 快適で安全に生活するためには、地域の人々と共に協力し助け合って生活することが大切であることを理解できるようにする。

問 2 『小学校学習指導要領解説』の「第 2 章 家庭科の目標及び内容 第 3 節 家庭科の内容 A 家族・家庭生活 (4) 家族・家庭生活についての課題と実践」に関する内容として適切でないものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア 指導計画の作成に当たっては、2 学年間で一つ又は二つの課題を設定して履修させるようにする。

イ 実践的な活動を家庭や地域などで行えるように、長期休業などを活用して実施する方法がある。

ウ 指導に当たっては、問題解決的な学習を進めるようにし、個人又はグループで課題解決に取り組むことができるよう配慮する。

エ 実践の場を学校に求めることなく、家庭や地域で必ず実践できるように工夫する。

問 3 近年の家庭を取り巻く状況として適切でないものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア 共働き世帯と専業主婦世帯(男性雇用者と無業の妻から成る世帯)の数は、1997(平成9)年以降、ほぼ変わらない。

イ 2020(令和2)年は、新型コロナウイルス感染症影響下の自粛生活により家事・育児負担の絶対量が増加したことに伴い、家事・育児時間が増加したが、男性が増やした時間以上に女性が時間を増やした。

ウ 女性の育児休業取得率は81.6%(2020(令和2)年度)だが、第1子出産後の女性の継続就業割合は53.1%(2015(平成27)年度)で、いまだに半数近くの女性が出産を機に離職している。

エ 育児・介護休業法の改正によって、2022(令和4)年10月1日から出生時育児休業(産後パパ育休)制度が始まり、男性が子の出生後8週間以内に、最長4週間(28日)まで産後パパ育休を取得できるようになった。

出典：「令和3年版厚生労働白書(令和2年度厚生労働行政年次報告)」(令和3年厚生労働省)

「令和4年版厚生労働白書(令和3年度厚生労働行政年次報告)」(令和4年厚生労働省)

問 4 「生活を豊かにするための布を用いた製作」に関する授業で、カード入れを製作することになった。製作における指導上の工夫として適切でないものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア 布端の始末をしなくてよいように、ブロード生地を用いることとした。

イ 縫い目が見やすいようにするために、布地とは異なる色の糸を用いることとした。

ウ ボタン付けの練習として、出し入れ口をボタンで留められるようにした。

エ 進度や関心・意欲に合わせて、縫い取りによって名前や模様を入れてもよいこととした。

問 5 洗濯について学習する際の導入において、衣服の汚れを可視化する実験を行うことになった。
 次の文は、その実験に関する記述である。文中の空欄 ① ~ ④ に当てはまる語句
 の組合せとして最も適切なものを、下のア~エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

汚れた衣服に ① 溶液を噴霧しアイロンをかけると、 ② 由来の ③ に反
 応した試薬が ④ 色に変化する。

	①	②	③	④
ア	フェノールフタレイン	食べかす	でんぷん	紫
イ	フェノールフタレイン	皮脂や垢 ^{あか}	でんぷん	緑
ウ	ニンヒドリン	食べかす	たんぱく質	緑
エ	ニンヒドリン	皮脂や垢	たんぱく質	紫

問 6 次の①~④は、整理・整頓の手順に関する記述である。取り組む順に正しく配列されているも
 のを、下のア~エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ① 使いやすいように物の置き場所を決める。
- ② 整理・整頓が必要な所を見つける。
- ③ 整理・整頓をして使いやすいになったか振り返る。
- ④ 必要な物と必要でない物に分類する。

- ア ② → ① → ④ → ③
- イ ④ → ② → ① → ③
- ウ ① → ② → ③ → ④
- エ ② → ④ → ① → ③

問 7 「栄養を考えた食事」に関する授業で、体に必要な栄養素の種類と主な働きを取り上げることにした。栄養素に関する記述として適切でないものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 炭水化物と脂質は、体内で燃焼してエネルギーになる。
- イ ビタミンは、炭水化物や脂質が、体内でエネルギーになることを助ける働きをしている。
- ウ たんぱく質は、筋肉など主に体をつくる働きに関わっている。
- エ 無機質に分類されるカルシウムは、骨や歯の成分になる以外に使われることはない。

問 8 「食事の役割」に関する授業で、箸や食器の扱い方など日常の食事に必要なとされるマナーや食事の配膳の仕方について取り上げることにした。箸の持ち方、汁椀わんの持ち方、ご飯の配膳、汁物の配膳について説明したものとして最も適切な組合せを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

	箸の持ち方	汁椀の持ち方	ご飯の配膳	汁物の配膳
ア	上側の箸は親指と人差し指、薬指で持つ	掌の上に汁椀を置く	左側	右側
イ	下側の箸は固定し動かさないようにする	親指以外の指は揃 <small>そろ</small> えて汁椀の底に置く	左側	右側
ウ	箸先が使えるように箸中央の位置で持つ	汁椀の側面を指先で支えるように持つ	右側	左側
エ	上側の箸を上下させて使う	汁椀の縁に親指を添えて持つ	右側	左側

問 9 あなたは「物や金銭の使い方と買物」に関する授業を計画している。授業の内容として適切でないものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 身近な商品を取り上げ、インターネットで購入する場合と店舗で購入する場合、現金による即時払いとクレジットによる後払いの利点及び問題点を比較できるようにする。
- イ 調理実習で使用するじゃがいもの購入について、価格、品質、販売単位の違い等に注目して比較・選択できるようにする。
- ウ 学用品などの購入や使い方について振り返り、粗末に扱ったり、不用な物を購入したり、使える物を捨てたりしていないか等を見直す学習活動を取り入れる。
- エ 商品購入の際に、環境負荷を考慮した商品の選択について意識できるようにする。

問10 あなたは、「環境に配慮した物の使い方」に関する授業を計画している。環境問題に関する記述として適切でないものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

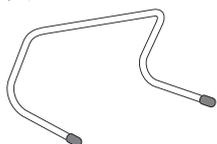
- ア ごみを焼却するときに排出される二酸化炭素は、地球温暖化の原因の一つとなっているため、普段からごみを少なくしたり、リサイクルしたりする生活を送ることは重要である。
- イ 水環境の持続のため、河川や海へのプラスチックごみの流出を抑えることが課題であるが、2050年には、海へのプラスチックごみの流出量が、海の魚の量よりも増える(重量比)ことが予測されている。
- ウ 近年、環境意識の高まりから、家庭から出るごみのうち、容器包装(レジ袋、食材を包むラップフィルム、弁当容器、缶、瓶、ペットボトル等)が占める割合は減少傾向にある。
- エ 家庭から出る生活排水の量や汚れを減らすために、水の出しっ放しをやめる、食器を洗う前に油汚れを拭きとる等の配慮が必要である。

体 育

問 1 中学年の小型ハードル走において、次の図で示された用具を使用したり、場を設定したりして「小型ハードル走の行い方を知り、いろいろなリズムでの小型ハードル走をすることを楽しむ」授業を行うことにした。下の①～④の文の正誤(○×)の組合せとして最も適切なものを、解答群ア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

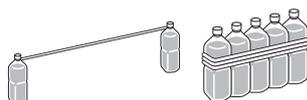
【小型ハードルで使用する用具】

・市販のミニハードル



軽くて持ち運びやすい。

・ペットボトルを用いた用具



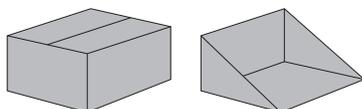
ゴムを張ったり、数本を横に連結したりする。風などで倒れないように砂や水などを入れる。

・輪やフープ(厚みのないもの)

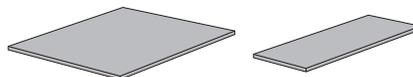


高さがないので安心して越えられる。中に足を入れるのではなく走り越える。

・段ボール

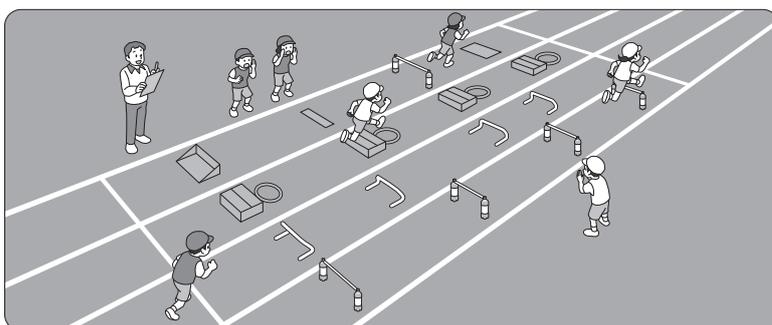


箱のまま使用したり、切って作ったりする。



板のものはいろいろな幅で用意ができる。

【小型ハードル走の場の設定】



- ① だんだん用具が高くなるように並べて、走らせること。
- ② 様々なコースを走らせたいので、走る向きやコースは限定せずに自由にさせること。
- ③ いろいろな間隔で並べたり、多様な道具を混ぜたりしたコースを設定すること。
- ④ 多様な道具を使用して授業をするのは危険なため、同じものを等間隔で並べて分かりやすく実施すること。

[解答群]

	①	②	③	④
ア	○	○	○	×
イ	○	×	×	○
ウ	×	○	×	○
エ	○	×	○	×

問 2 『小学校学習指導要領解説』の「第 3 章 指導計画の作成と内容の取扱い」に示された指導計画の作成に当たって留意すべき事項として適切でないものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア 運動領域の授業時数の配当に当たっては、一部の領域に偏ることなく全ての領域の指導がバランスよく行われるようにするとともに、領域別の授業時数の配当は、ある程度の幅をもって考えてもよい。

イ 体育科の指導に当たっては、「知識及び技能」の習得、「思考力、判断力、表現力等」の育成、「学びに向かう力、人間性等」の涵養のいずれかに^{かん}焦点化して、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を行うことが重要である。

ウ 保健領域に配当する授業時数について、第 3 学年及び第 4 学年では 8 単位時間、第 5 学年及び第 6 学年では 16 単位時間に若干の幅をもたせてもよい。

エ 障害のある児童などへの運動領域の指導に当たっては、当該児童の運動(遊び)の行い方を工夫するとともに、活動の場や用具、補助の仕方に配慮するなど、困難さに応じた手立てを講じることが大切である。

問 3 「小学校学習指導要領」の「第 1 目標」には、「運動や健康についての自己の課題を見付け、その解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う」と示されている。このことの解説として適切でないものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア 各領域の特性を踏まえ、動きや技のポイントを見付けたり、自己の行い方についての課題を見付けたりすることを示している。

イ 小学校段階において、基礎的な一つの運動に関する基本的な動きや技能を、解決すべき課題と関連付けながら、確実に身に付けることが重要であることを示している。

ウ 健康に関わる事象や健康情報などから自己の課題を見付けることを示している。

エ 自己の課題について、思考し判断したことを、言葉や文章及び動作などで表したり、仲間や教師などに理由を添えて伝えたりすることを示している。

問 4 『小学校学習指導要領解説』において、低学年の水遊びと中学年・高学年の水泳運動は、その内容の構成が異なる。このことの解説として適切でないものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

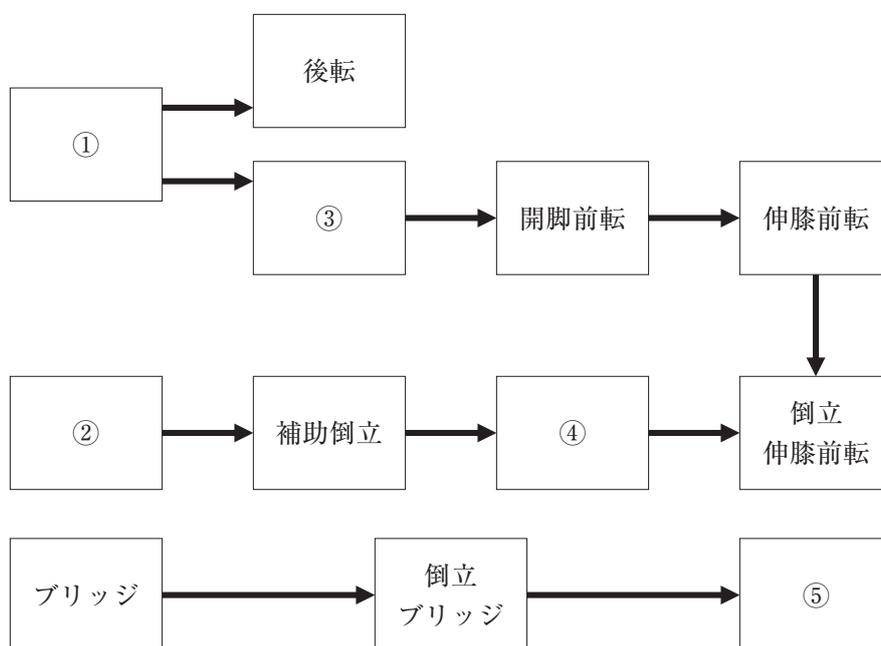
ア 水遊びは、水の中を移動する運動遊びだが、中学年の水泳運動は浮いて進む運動である。

イ 水遊びは、水中を動き回るなどの心地よさを楽しむ運動遊びだが、水泳運動では、泳ぐ距離や浮いている時間を伸ばすなどの楽しさや喜びに触れたり味わったりすることができる。

ウ 水遊びは、まず「安全確保につながる運動」をしておく必要があり、水泳運動では、記録を達成することに向かわせればよい。

エ 水遊びは、息を止めたり吐いたりすることを身に付けることが課題になるが、水泳運動では、手や足の動きに合わせた呼吸の仕方を身に付けることが課題になる。

問 5 次の図は、マット運動における運動遊びから技へとつながる指導体系の一部を表したものである。図中の①～⑤に当てはまる語句の組合せとして最も適切なものを、下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。



- | | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ |
|---|--------|---------|------|--------|--------|
| ア | ゆりかご | かえるの足打ち | 前転 | 倒立前転 | 前方倒立回転 |
| イ | 背支持倒立 | うさぎ跳び | 前転がり | 倒立 | 前方回転倒立 |
| ウ | ゆりかご | 支持での川跳び | 前転がり | 倒立前転 | 側方倒立回転 |
| エ | だるま転がり | かえるの逆立ち | ゆりかご | 壁登り逆立ち | 前方倒立回転 |

問 6 『小学校学習指導要領解説』の「第 2 章 体育科の目標及び内容 第 2 節 各学年の目標及び内容〔第 5 学年及び第 6 学年〕 2 内容 A 体づくり運動 (3) 学びに向かう力, 人間性等」に示された「運動に意欲的でない児童への配慮の例」として最も適切なものを, 次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア 仲間と関わり合うことが苦手で運動に意欲的に取り組めない児童には, 一人で取り組ませるなど, 仲間と関わらせないように配慮する。

イ 運動の行い方が分からないために意欲的に取り組めない児童には, 教師は積極的な言葉がけを慎み, 児童自ら課題を発見できるように配慮する。

ウ 仲間との身体接触を嫌がる児童には, バトンやひもなどの用具を用いて触れ合う運動を工夫するなどの配慮をする。

エ 達成感をもてないために運動に意欲的に取り組めない児童には, 意欲的な仲間とペアやグループを組み, 刺激を受けられるように配慮する。

問 7 次の文章中の空欄 ① ～ ⑤ に当てはまる語句の組合せとして最も適切なものを, 下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

あなたは, 第 5 学年の学級担任になりました。ネット型のボール運動の授業を『小学校学習指導要領解説』に則り, 考えることにしました。ネット型のボール運動の内容を ① と ② などのボールを持たないときの動きによって構成することにし, ③ する ④ ゲームを行うように考え, 運動が苦手な児童への配慮として, ⑤ ことにしました。

	①	②	③	④	⑤
ア	簡単なボール操作	簡単な攻めや守りの動き	的に向かって投球	簡単な規則で行われる易しい	柔らかいボールを使う
イ	基本的なボール操作	ボールを操作できる位置に体を移動する	味方にパスをしたり, 相手コートに返球したり	ラリーの続く易しい	飛んできたボールをキャッチしてから打つことを認める
ウ	ボール操作	チームの作戦に基づいた位置取りをする	相手が捕りにくいボールを返球	簡易化された	飛んできたボールを短時間保持することを認める
エ	基本的なボール操作	空いている場所に素早く動く	ボールを手や足でシュート	易しい	ボールを保持する条件を易しくする

問 8 器械運動における「跳び箱運動」の授業について、準備を円滑に進めるための指導、及び授業を安全に行うための指導として最も適切なものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 跳び箱の1段目を運搬する際には、裏返しにした状態で運ぶよう指導する。
- イ 跳び箱を運搬する際には、二人で縦向きで運ぶよう指導する。
- ウ 跳び箱を運搬する際には、1段目以外は2段ずつまとめて運ぶよう指導する。
- エ 跳び箱を保管する際には、1台ずつ離さずに隙間なく並べて置いておくよう指導する。

問 9 保健領域に関する次の文章中の空欄 ① ～ ④ に当てはまる語句の組合せとして最も適切なものを、下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

保健領域においては、社会の変化に伴う ① の出現や、情報化社会の進展により様々な健康情報の入手が容易になるなど、環境が大きく変化している中で、児童が生涯にわたって ② を選択したり、健康に関する課題を適切に解決したりすることが求められる。その際、保健に関わる原則や概念を根拠としたり活用したりして、③ や生活の質の向上、さらには ④ を目指して、情報選択や課題解決に主体的に取り組むことができるようにすることが必要である。

	①	②	③	④
ア	誤った健康情報	適切な生活様式	豊かなスポーツライフ	疾病等のリスクの軽減
イ	現代的な健康に関する課題	正しい健康情報	豊かなスポーツライフ	仲間と共に思考を深めること
ウ	誤った健康情報	適切な生活様式	健康を支える環境づくり	疾病等のリスクの軽減
エ	現代的な健康に関する課題	正しい健康情報	疾病等のリスクの軽減	健康を支える環境づくり

問10 次の文章中の空欄 ① ～ ④ に当てはまる語句の組合せとして最も適切なものを、下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

『小学校学習指導要領解説』の「第2章 体育科の目標及び内容 第2節 各学年の目標及び内容〔第5学年及び第6学年〕 2 内容 F 表現運動 (1) 知識及び技能」の「イ フォークダンス(日本の民踊^{よう}を含む)」では、日本の民踊に共通する特徴として、歌詞に伴う手振り、
 ① 足どりと腰の動き、輪踊り、一人踊りが多いことなどが示されている。外国の踊りに共通する特徴としては、
 ② 音楽に乗せたいろいろなステップ、輪や列になって手をつないで踊る、パートナーと組んで踊ることなどが示されている。また、具体的な踊りとして例示されているロシアの踊りとしては、第1学年及び第2学年では
 ③ が示され、第5学年及び第6学年では
 ④ が示されている。

- | | ① | ② | ③ | ④ |
|---|------------|------------|-------|-------|
| ア | 低く踏みしめるような | 軽快な | タタロチカ | コロブチカ |
| イ | 軽快な | 低く踏みしめるような | コロブチカ | タタロチカ |
| ウ | 低く踏みしめるような | 軽快な | コロブチカ | タタロチカ |
| エ | 軽快な | 低く踏みしめるような | タタロチカ | コロブチカ |

外国語(英語)

問 1 第4学年における「曜日の名前」を扱う単元で、自分の好きな曜日を発表することにした。「話すこと[発表]」の指導として適切でないものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 聞き手が理解しやすいように伝える内容を整理するよう指導する。
- イ 聞き手が理解しやすいようにイラストや写真を用意するよう促す。
- ウ 聞き手に伝わる声の大きさや話し方になっているかをペアでコメントし合う。
- エ 聞き手としてふさわしい反応はどのようなものかをクラス全体で確認する。

問 2 外国語活動及び外国語科に関する記述として最も適切なものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 外国語活動では、検定教科書が発行されている。
- イ 外国語科では、発音と綴りとを関連付けて指導を行う。
- ウ 外国語科では、語順を意識しながら基本的な表現を書き写すことができるようにする。
- エ 外国語科では、英語以外の言語を教えるはならない。

問 3 高学年における「月の名前」を扱う単元で、自分の誕生日を伝え合うことにした。「話すこと[やり取り]」の指導として適切でないものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 質問したいことを自分で考えられるように指導する。
- イ 質問に対して自分で考えて答えられるように指導する。
- ウ 簡単な語句や基本的な表現を用いて、その場で質問したり、答えたりできるように指導する。
- エ 即興で話すことができるように指導する。

問 4 『小学校学習指導要領解説』の「第2部 外国語 第2章 外国語科の目標及び内容 第2節 英語 2 内容」に示された内容として最も適切なものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 700～800語程度の語彙を指導する。
- イ やり取りがある程度は継続するように指導する。
- ウ グローバル社会に対応できるよう、世界の多様な英語の発音が身に付くように指導する。
- エ 疑問詞 who, what, which, when, where, why, how で始まる疑問文を指導する。

問 5 『小学校学習指導要領解説』の「第2部 外国語 第2章 外国語科の目標及び内容 第2節 英語 2 内容〔第5学年及び第6学年〕〔知識及び技能〕(1) 英語の特徴やきまりに関する事項 エ 文及び文構造」に基づき、外国語科で扱う英文として最も適切なものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア I like playing tennis.
- イ I don't like baseball, but I like soccer.
- ウ Does he like basketball?
- エ Did you play table tennis?

問 6 語頭の音素が互いに異なる組合せを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア six —— sheep
- イ jet —— general
- ウ finger —— phone
- エ kick —— chorus

問 7 第一アクセント(第一強勢)の位置がほかの三つと異なるものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア orchestra
- イ chimpanzee
- ウ sunflower
- エ yogurt

問 8 英文の表現として最も適切なものを，次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア I can't hear you. Please say it one more.

イ This scissors is mine.

ウ I had sandwiches for breakfast.

エ A : I don't like apples.

B : Me, too.

問 9 外国語活動及び外国語の授業において，指導者が用いる英文とその意味の組合せとして最も適切なものを，次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア Circle the clock. —— 丸い時計を描きなさい。

イ Close! —— 惜しいです！

ウ Fold it in half. —— 片側を持ちなさい。

エ Copy me. —— 黒板を書き写しなさい。

問10 外国語活動及び外国語の授業で行われる学習活動の名称とその説明の組合せとして最も適切なものを、下の解答群ア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

Rebecca L. Oxford(1990).
Language Learning Strategies

許諾を得ておらず不掲載

[解答群]

	①	②	③	④
ア	C	D	B	A
イ	C	B	D	A
ウ	B	A	C	D
エ	A	D	B	C